

つながろう！絆・連合



発行：連合（総合組織局・連帯活動局）

電話 03-5295-0513 FAX 03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp

日本労働組合総連合会（連合） <http://www.jtuc-rengo.or.jp/>

第3回連合ボランティア・プロジェクト ～「防災」の原点を「釜石の奇跡」に学ぶ～

連合は、全地方連合会において大規模災害が発生した時にスムーズに初動体制がとれるよう「ボランティア・プロジェクト」を立ち上げ、まずは各都道府県独自の要綱・要則や防災マニュアルを作成し、地元地域のボランティア関係団体との日常的な連携体制を図り、万一の時のための備えを図ることをめざしています。



9月4日に第3回プロジェクトを開催しました。まずは、プロジェクト立ち上げから1年を経過し、要綱・要則策定や関係団体との連携が着実に前進している状況を確認しました。さらに独自の要綱・要則や災害ボランティアチームの運営要綱を策定している連合栃木の取り組みをご紹介いただきました。（写真左：中澤副事務局長） 続いてブロックごとに、発災時における連携のあり方や、ブロック単位での研修会の持ち方を検討し、最後に「釜石の奇跡」で著名な群馬大学・片田教授に講演をいただきました。（下枠参照）

次回のプロジェクトは来年2月頃を目途に、災害対策本部の立ち上げを含むノウハウ習得のための「災害ボランティア研修会」を実施する予定です。

連合はこのプロジェクトを通じて、自然災害から地域の人々を守る、さらに“強い地域組織”をめざして取り組んでいます！ぜひ皆さま、ご協力をお願いします。

釜石の奇跡
を全国に！

「想定を超える災害にどう備えるか」

講師：群馬大学 片田敏孝教授
（広域首都圏防災研究センター長）

3.11大震災において、なぜ釜石の小中学生の生存率が99.8%だったのか。“釜石の奇跡”と語られている、子どもたちに「一目散に逃げて命を守る」行動をおこさせた、事前の防災教育とはどのようなものであったのかなどのお話を通じて、真の防災教育はどうあるべきかに迫りました。ポイントは、

- 「防災の原点」は「自分の生命は自分で守ること」
- 「脅し」や「知識だけ」の防災教育ではなく、「人が死なないこと」が「防災の基本」であることを心から理解して取り組むべき。
- 本当の敵は「地震」や「津波」よりもむしろ「わかっているのにやらない自分自身」



心に響くお話をいただき、さらに連合に対して「生命を守るもう一步深い防災に取り組み、世直し運動をして欲しい」とのエールも頂きました。

岩手・宮城・福島と意見交換！

9月2日、東北三県の地方連合会事務局長と、その後の復興状況や現地で抱えている課題などについて、意見交換を行いました。

公営住宅の建設がなかなか進まない、また福島では原発関係の除染作業や賠償問題が深刻である、避難者が約15万人いるうち県内に10万いて、その3割が未だに仮設住宅に暮らしている。さらに今後は地方自治体との関係がより重要になるなど、震災後2年半が経過して、三県の状況にはかなり違いがでています。

今後は個別に現地を訪問し、状況を聞かせていただき、全国の仲間にこの絆ニュースを通じてお伝えてしていきます。

三県の事務局長から「東北を思ってくれてありがたい！」とのお言葉を頂きました。



以上

本ニュースは、全国の皆さんの声をベースに発行していきます。「こんな取り組みしているよ」「今、現地はこうなっている」などの声や写真をぜひお寄せください。お待ちしております！

連合連帯活動局・西野 TEL03-5295-0513 FAX03-5295-0547 rentai@sv.rengo-net.or.jp